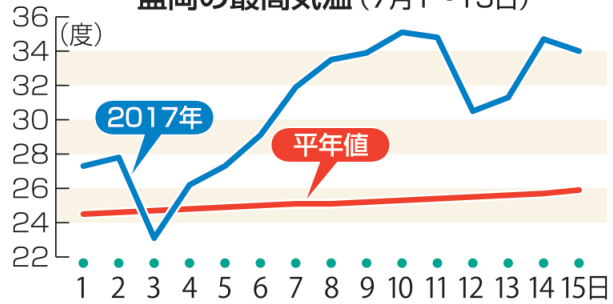


盛岡の最高気温 (7月1～15日)



# 盛岡 一番暑い7月前半 最高気温平均30・7度

今後とも真夏日は続く見込み。夏本番はこれからで、熱中症に注意が必要だ。県内は7～15日、高気圧に覆われて晴れた日が多く、日本海や南からの暖気の影響で暑かった。盛岡の最高気温

盛岡の7月前半(1～15日)の最高気温の平均が30・7度となり、盛岡地方気象台の観測統計が残る1924(大正13)年以降、最高を更新した。平年を5・5度上回る。同気象台によると、

同気象台によると、盛岡は19日以降、再び真夏日が続く見込み。仙台管区気象台の最新の東北1カ月予報(7月15日～8月14日)も平均気温は高いと見込んでいる。

盛岡の7月前半の過去最高は2011年の30・0度。最低は83年の21・1度。30度以上の真夏日は16日で途切れたが、15日まで9日連続で記録した。10日には35・1度の猛暑日を記録。観測史上最も早い時期の35度超となった。猛暑は県内各地で続いた。

- 7月1～15日の間で、最高気温が平年値より最も大きく上回ったのは、7月何日ですか。  
.....  
.....
- 7月7～15日が暑かったのは、何の影響からですか。  
.....  
.....
- 記事に「熱中症に注意が必要」とあります。熱中症予防のために、どんな対策をすればよいでしょう。二つ書きましょう。  
.....  
.....

※盛岡=もりおか、7月前半=7がつぜんはん、最高気温=さいこうきおん、平均=へいきん、度=ど、地方=ちほう、気象台=きしょうだい、観測統計=かんそくとうけい、残る=のこる、大正=たいしょう、以降=いこう、更新=こうしん、平年=へいねん、上回る=うわまわる、今後=こんご、真夏日=まなつび、続く=つづく、熱中症=ねっちゅうしょう、注意=ちゅうい、必要=ひつよう、県内=けんない、高気圧=こうきあつ、覆われ=おおわれ、晴れ=はれ、日=ひ、多く=おおく、日本海=にほんかい、南=みなみ、暖気=だんき、影響=えいきょう、暑かった=あつかった、以上=いじょう、途切れた=とぎれた、連続=れんぞく、記録=きろく、猛暑日=もうしょび、史上=しじょう、最も=もっとも、早い=はやい、時期=じき、超=ちょう、各地=かくち、続いた=つづいた、前半=ぜんはん、過去最高=かこさいこう、最低=さいてい、見込み=みこみ、仙台=せんだい、管区=かんく、最新=さいしん、東北=とうほく、1カ月=いっかげつ、予報=よほう、高い=たかい

(2017年7月17日付・岩手日報一面)

年 組 名前 \_\_\_\_\_